# LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準(案)に沿った作成手順

## ■ ソフトウェアとバージョン : TREND-CORE Ver.5

- ■OCF 検定認証番号 : 17118070196
- ◆線形モデルを出力する場合1

①線形を作成後、リボンメニューより[書込] – [線形モデル]を実行



②対象の線形を選択して出力設定を指定

<ul> <li>         ● LandXMLデータ交換標準出力設定         ×         ×         ×</li></ul>				
設計情報		座標参照系		
工事名		座標系名称	CRS-1	
路線名	路線1	測地原子	日本測地系2011 -	
道路規格	第1種第3級	・ 鉛直原子	基準面 東京湾中等潮位(T.P) ▼	
設計速度	60km/h	,	TPとの標高差 0.0000m	
設計交通量	300	水平座標系	1系	
事業段階	施工	※青文字は入力	※青文字は入力必須項目です。	
OK キャンセル				

③作業終了

#### ◆線形モデルを出力する場合2

①線形を作成後、リボンメニューより[書込] – [CIM 成果] – [線形モデル出力]を実行

### ※事前に[書込] – [CIM 成果] – [統合モデル出力]を実行しておく必要あり



②作業終了

### ◆土工モデルを出力する場合

①土工データを作成後、リボンメニューより[書込] – [CIM 成果] – [土工形状モデル出力]を実行 ※土工データは、道路、法面、その他道路、簡単地盤、切土、凸凹地盤、盛土、平場 ※事前に[書込] – [CIM 成果] – [統合モデル出力]を実行しておく必要あり



②作業終了

# ◆土工横断計画データを出力する場合

①土工横断計画データを作成後、リボンメニューより[土工形状モデル]を実行



②作業終了